

金利上昇局面の債券パフォーマンス

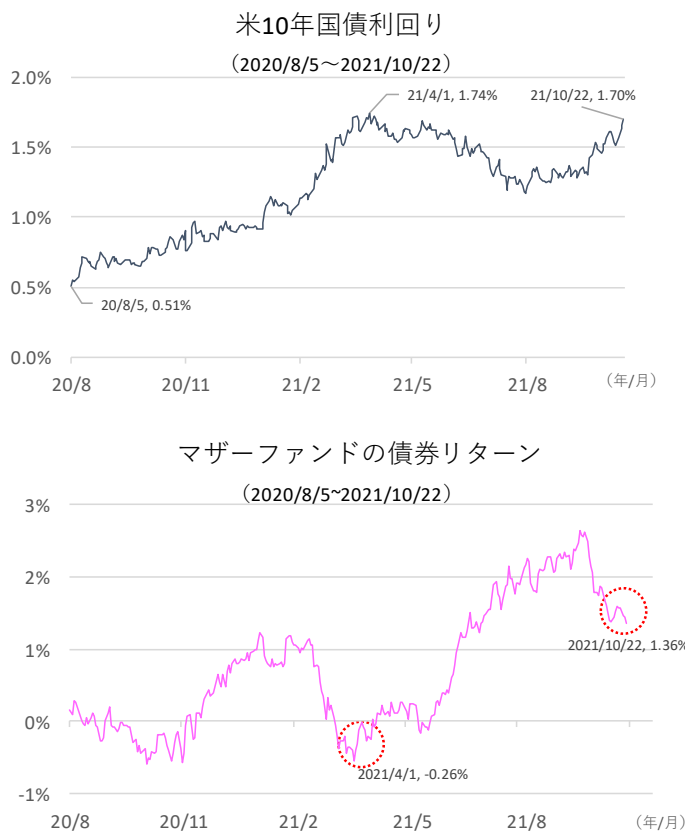
日系外債オープン(為替ヘッジあり)
追加型投信／海外／債券

2021年11月5日

【当レポートのポイント】

- 世界経済がコロナ禍からの回復に向かう中、世界的に金利上昇が進行している。
- こうした中でも、当ファンドの主要な投資対象である日系外債マザーⅡ（以下、マザーファンド）の債券リターンは、足元でプラスを維持している。
- 債券は時間の経過によるパフォーマンスの改善・向上が特徴であり、投資魅力となっている。
- マザーファンドは、ハイブリッド債等への投資によって、より高い利息収入の確保を図っている。
- 債券投資の特徴を活かした投資戦略は、金利上昇局面においても有効であり、今後も安定したパフォーマンスを継続できると見込んでいる。

・マザーファンドの債券リターンは、今年前半の落ち込みからプラス圏内へ



世界経済がコロナ禍からの回復に向かう中、インフレや金融緩和縮小を背景に、米国をはじめ各国・地域で金利上昇が進行しています。

米10年国債利回りは、コロナショック後の底となった昨年8月5日（現地は前営業日の8月4日）から、今年4月1日（同）の約8か月間で約1.2%上昇し、1.7%台となりました。その後、利回りは低下と上昇を経て半年余が経過した10月22日（同）に再度1.7%台となっています。

この間、マザーファンドは、4月1日前後に債券リターンがマイナスとなりましたが、その後プラス圏内に回復し、再度米国で利回りが1.7%台となった10月においても、プラスを維持しています。

これは、時間の経過に伴ってパフォーマンスが改善・向上する債券投資の特徴の表れといえます。

※米国債利回りは当該日前営業日の現地終値です。

※債券リターンは当社の計算によるものです。

※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

（出所）上段グラフBloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

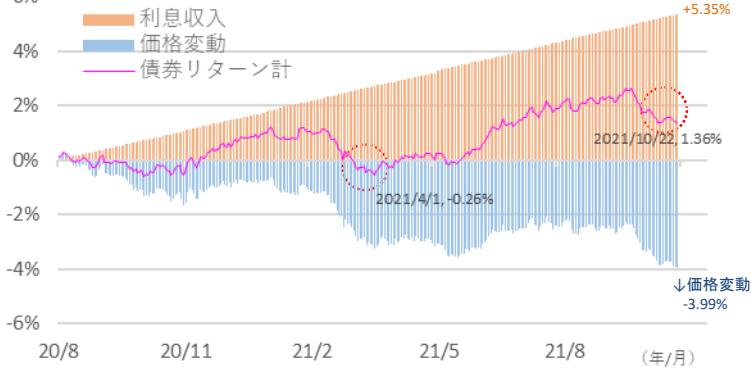
■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

日系外債オープン(為替ヘッジあり)
追加型投信/海外/債券

・時間の経過に伴って利息収入がトータルリターンを押し上げ

マザーファンドの要因別債券リターン

(2020/8/5~2021/10/22)



マザーファンドの債券リターンを要因別に見ると、価格変動によるリターンは、4月と10月の各時点でマイナス幅が拡大しています。一方、利息収入は市場の変動と関係なく積み上がり、より時間が経過した10月にはトータルリターンをプラスになるまで押し上げています。

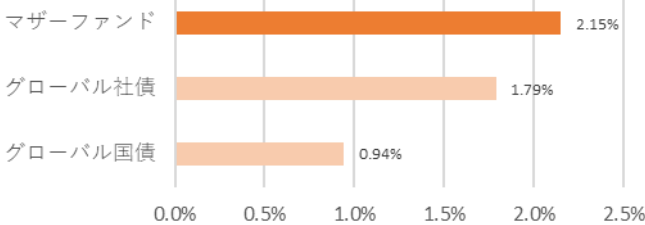
この、時間の経過を受けた利息収入の積み上がり、パフォーマンスの改善・向上こそが、債券投資の特徴であり、大きな魅力となっています。

※各リターンは当社の計算によるものです。利息収入はファンドの純資産価額に対するクーポン収入累計の割合を表示しています。グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

・ポートフォリオの利回りを高めて、債券投資の特徴を活かす

利回り水準

(2021年10月末時点)



※マザーファンドは保有債券の最終利回り(期限前償還を考慮)の加重平均値、グローバル社債はBloomberg Global Aggregate Corporate IndexのYield to Worst、グローバル国債:Bloomberg Global Aggregate Treasuries IndexのYield to Worstをそれぞれ表示しています。

(出所)各Indexの利回りはBloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

マザーファンドの運用においては、ポートフォリオの利回り水準を高めて、利息収入による押し上げ効果をより多く享受できるように努めています。具体的には、日本の大手保険会社などが発行するハイブリッド債※を中心に投資を行い、より高い利息収入を確保し、パフォーマンスの安定を図っています。

今後も暫くの間は、金利上昇局面が続き、債券投資にとって逆風の投資環境が予想されます。しかし、こうした中でも、より高い利息収入を積み上げる戦略によって、債券投資の特徴を有効に活用すれば、今後も安定したパフォーマンスを継続できると見込んでいます。

マザーファンドの組入上位5銘柄(10月末時点)

銘柄名	通貨	表面利率	償還日	次回コール日	比率	格付
明治安田生命保険相互会社	米ドル	5.200%	2045/10/20	2025/10/20	7.2%	A-
第一生命保険	米ドル	5.100%	-	2024/10/28	7.0%	A-
住友生命保険	米ドル	6.500%	2073/09/20	2023/09/20	7.0%	A-
富国生命保険相互会社	米ドル	6.500%	-	2023/09/19	7.0%	BBB+
朝日生命保険	米ドル	6.500%	-	2023/09/05	6.9%	BBB-

※ハイブリッド債

株式と債券の両方の特性を持つ劣後特約付(普通社債よりも元本及び利息の支払い順位が低くなる特約付)社債。一般に債務不履行のリスクが大きい分、利回りは相対的に高い。

※償還日が「-」表示の銘柄は永久債です。次回コール日は発行体の任意で行われる期限前償還予定日です(期限前償還が行われない場合もあります)。比率はマザーファンドの純資産総額に対する値です。格付はS&P、Moody's、Fitchの劣後債(ハイブリッド債)格付のうち低位の格付を表示しています。

(作成:運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**日系外債オープン(為替ヘッジあり)
追加型投信／海外／債券**
日系外債オープン(為替ヘッジあり)に関する留意事項
【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、主に米ドルを中心とした先進国通貨建ての債券等の値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「金利変動リスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」、「為替変動リスク」があります。「為替ヘッジあり」は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指しますが、為替ヘッジの対象となる外貨建資産は市況動向により変動することから、為替変動リスクを完全にヘッジすることはできません。
- 劣後債への投資には「弁済の劣後」、「繰上償還延期」、「利息の繰り延べまたは停止」、「制度変更等によって不利益を被る」等の可能性があり、リスクは普通社債への投資と比較して相対的に大きいものとなります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限1.10%（税抜1.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率0.693%（税抜0.63%）
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただけます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただけます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

日系外債オープン(為替ヘッジあり)
追加型投信／海外／債券

2021年11月5日現在

販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
頭川証券株式会社	北陸財務局長(金商)第8号	○			
大熊本証券株式会社	九州財務局長(金商)第1号	○			
長野證券株式会社	関東財務局長(金商)第125号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
(登録金融機関)					
株式会社富山銀行	北陸財務局長(登金)第1号	○			
株式会社長崎銀行	福岡財務支局長(登金)第11号	○			
株式会社長野銀行	関東財務局長(登金)第63号	○			

＜本資料に関するお問合わせ先＞

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)